

# 長畝ふるさと通信

【2014年9月号】

## ■ 稲刈り特集

● 初めての酒米・五百万石……今年始めて酒米づくりに挑戦しました。五百万石は酒造好適米のひとつで、1957年、新潟県のコメ生産量が五百万石を突破したことからきているそうです。佐渡には酒蔵が5軒あり、「北雪酒造」という酒蔵が日本酒の海外輸出で販売を大きく伸ばしており、その原料が必要とのことで、今年から栽培を始めた次第です。コメと同様、日本酒の需要も減少している中、頼もしい限りです。日本人はもっとコメを愛しましょう。



● 泥んこ田んぼ……9月7日、佐渡では毎年恒例のトライアスロン国際大会が開催され、2000人もの鉄人たちがレースに参加しました。時を同じく、我が田んぼでも「泥んこ鉄人レース」が…



田んぼが乾かず、排水の悪い田んぼは大型のコンバインが足を取られて動けません。当日の作業参加者15人全員で一斉に手刈り、刈り取った稲は泥田に足を取られながらコンバインまで運搬、その後脱穀ともう汗びっしょり。みんな泥んこになって格闘すること約半日。ようやく1枚の田んぼの稲刈りを終えることが出来ました。こんな田んぼがまだまだ…ある意味、鉄人レースです。

● お天気に翻弄されて……今年ほど気まぐれお天気に翻弄された事はありません。快晴と思いきやあっという間に雨雲が現れて、いきなりの土砂降りで何度も途中で稲刈り作業が中止になってしまいました。まさに「ゲリラ豪雨」です。全国的に予想できない異常気象が災害をもたらしていますが、これから一体どうなる事やら…



● コシヒカリは20日から……9月20日がコシヒカリの刈り取り適期ということで、きっちりと20日から刈り取り開始。8月の日照不足と台風の影響で若干、青未熟粒が目立ちますが全体の出来はまずまず。

連日天候にも恵まれ、日量40～50トンの粃がライスセンターに運ばれてきます。ライスセンターでは粃を乾燥機で水分15%にまで乾燥させ、モミガラを取って玄米にし、袋詰めしていきます。朝から晩まで稼働する機械の騒音の中、ホコリまみれで作業するのは気分も凹みがちですが、「これが僕らのメシの種」ですから。



● あと少し……9月末には90%の収穫が終わりました。佐渡全体の作況は98%「やや不良」と発表されましたが、我が社はほぼ計画通りの収量です。検査に出したお米も今のところ全量「1等米」で、今年もみなさんのご期待に沿える出来栄えだと思っています。



● ほっと一息……はありません。刈り取りを終えた田んぼは地温が高いうちに藁をスキ込み、来年の肥やしにします。場所によっては地力を

上げるために今から肥料を撒いたり、田んぼの均平作業をしたり。すでに27年産米に向けて取り組みを始めていきます。田んぼの畦には彼岸花、どこからともなくキンモクセイの芳醇な香りが風に乗って漂ってきます。真っ青な空を見上げながら「今年も一年頑張ったな～」などとつぶやきながら稲の無くなった田んぼに立っています。もうすぐ新米をお届けします。毎年繰り返しますが



おかわりは自由です